

感染防止に努めながら！



画像は加工して掲載しています

体育の授業は、9月30日まで運動場のみで行っています。床面を貼り替えリニューアルした体育館はまだしばらくおあずけです。運動場でも熱中症対策としてマスクをはずすことが多いので、十分な間隔をあけ、身体的な接触を伴わない運動を中心に行います。もちろん給食の準備も食べる時も、本当に静かです。



画像は加工して掲載しています



画像は加工して掲載しています

授業ではICTの有効的な活用をめざして子どもたちと共に取組を進めています。今後いつ自分が自宅待機（出席停止）になるかもわかりません。また学級閉鎖になる場合も想定しなければなりません。そのとき、このICTを活用することで単に学習保障だけでなく、学校（先生や友だち）と家庭（自分）がつながっている安心感を得ることができます。それは何ものにもかえがたい喜びとなります。私たちはコロナ禍によって決して分断され、孤立化してはなりません。

たっぷりタブレットを使った後は、目のケアも大切にします。保健室の先生に指導してもら



画像は加工して掲載しています

って楽しく目の体操も行いました。

感染防止に最大の注意をはらいながら、もう一方で万が一の時のことを考え、子どもたちと共に成長しながら準備をすすめていきたいと思っています。



昨年（2020. 9. 28撮影）の南門の前



今年（2021. 9. 13撮影）彼岸花のつぼみ

左上の写真は、昨年の9月28日の南門の前の様子です。彼岸花が咲き誇っています。毎年、この季節になると「いつの間に」と思うほど、ある日突然、彼岸花の群生に驚かされます。気がついたときにはもう真っ赤な絨毯になっていることも多く、同時に「昨日もこんなに咲いていたっけ？」と不思議な気持ちになるのも彼岸花の特徴かもしれません。

しかし、よく見ると当然ですが、「兆し」は必ずあるのです。青々とした草むらをじっと見ると確かに彼岸花のつぼみを見つけることができます。物事には、必ず「そうなる」兆しが存在しているのです。子どもたちの生活においても同様に「さまざまな兆し」を見逃すことなく注意深く見守ることを大切にしたいですね。